

本町の教育指標：「進取の気象」「国際性」「社会貢献」

嘉手納町 教育委員会だより

令和7年 11月発行 嘉手納町教育委員



生涯学習フェスティバル はいさい！いちゃりば祭 盛大に開催！

11月2日、「生涯学習フェスティバル・はいさい！いちゃりば祭」を開催し、約1,000人の来場者で賑わいました。本祭りは、生涯学習への関心と、子どもたちの自主性・社会性の育成を目的として行われています。今回は、嘉手納中学校の生徒50人余が「かでなっ子ハローワーク」を通じてボランティアとして運営に協力し、大きな力となりました。式典では、感謝状贈呈式や善行青少年表彰を実施。ステージでは、三線演奏、新体操クラブや幼稚園のダンスなどの多彩な演舞が披露されました。また、ストラップづくりやプログラミング体験、親子料理教室など、約20の体験ブースが出展され、会場は子どもたちの笑顔と活気にあふれました。ご協力いただいた多くの団体・個人の皆様、そして協働で祭りを成功に導いた嘉手納中学校の生徒の皆さんに心より感謝申し上げます。



「まんが野國總管ものがたり」贈呈！ 勇気と探究心を受け継ごう

嘉手納町教育委員会は、郷土の偉人、野國總管の生き方を学ぶため、「まんが野國總管ものがたり」の贈呈式を11月5日・18日に嘉手納小学校と屋良小学校で開催しました。浦崎教育長は、野國總管が400年以上前に甘藷（いも）を持ち帰り、村人を救った偉大な功績を紹介。そして、總管さんの行動から「勇気」「探究心」「思いやり」の3つの大切な精神を学ぶよう、児童たちに伝えました。最後に、「總管さんのように、新しいことにチャレンジする勇気と、友達や地域を大切にする心を育んでほしい」と激励しました。「まんが野國總管ものがたり」は3・4年生の副読本として活用します。



嘉手納小3年 翁長由都さん 日本メンサに入会！



嘉手納小学校3年生の翁長由都さんが、高い知能指数(IQ)を持つ人々の国際的な団体である日本メンサ(Japan Mensa)への入会を果たし、お母様とともに町長を表敬訪問しました。メンサは、全人口の上位2%にあたる知能指数を持つ人々のための非営利団体です。由都さんは、その選ばれた知性の持ち主として認められました。由都さんの驚異的な知的好奇心と記憶力に関するエピソードも紹介されました。興味のある漢字として総



画数57画の複雑な漢字（右側参照）「ビヤンビヤン麺の字」を示したり、日頃から読書を好み、国語辞典の内容をほぼ覚えているという驚異的な記憶力の持ち主であることが報告されました。町長は、由都さんの素晴らしい才能と知的探求心に感銘を受けました。嘉手納町教育委員会は、由都さんの今後の活躍と、さらなる知的探求を心から応援しています。

千原エイサーが特撰公演に出演！ 魂を揺さぶる勇壮な舞

11月16日、国立劇場おきなわ大劇場において、第12回特撰沖縄の伝統芸能公演が開催され、本町から千原エイサーが参加しました。本公演は、シマ社会に残る貴重な伝統芸能を広く公開する目的で開かれ、嘉手納町の千原エイサーは、県内各地の著名な伝統芸能とともに披露されました。（西原町の花笠三段節、今帰仁村の棒術と路次楽、那覇市の旗頭演舞など、多彩な伝統芸能が上演）。観客からは、千原エイサーの「最初から最後まで一貫した勇壮活発さと、男性特有のダイナミックで躍動感あふれる姿に深く心を打たれた」との感想が寄せられました。この公演への出演は、本町の誇るべき伝統文化の素晴らしさと、その継承の重要性を改めて示す機会となりました。



嘉手納中学校 体育祭開催！生徒が創り上げた感動の一日

11月14日、嘉手納町陸上競技場にて嘉手納中学校の体育祭が開催されました。平日にもかかわらず、多くの保護者の皆様にご来場いただきました。本体育祭は、開会式から閉会式まで生徒がすべて自主的に運営したことが最大の特徴です。また、先輩後輩がチームを組む兄弟学級制度を採用し、学年を超えた協力とチームワークが随所に見られました。競技では、学級リレーが白熱した接戦となり、会場は大歓声に包まれました。ハイライトは、全校生徒による応援合戦（ダンスパフォーマンス）です。3年生がリードし、完成度の高い息の合ったダンスを披露。全校生徒の熱意と団結力が一つになりました。生徒たちが見せてくれた自主性とチームワークは、今後の学校生活における大きな財産となるでしょう。



嘉手納中学校が教育DXを牽引！生成AI公開授業に約460名が参加

11月19日、嘉手納中学校において、文部科学省指定リーディングDXスクール・生成AIパイロット校の公開授業および生成AI体験会が開催されました。当日は、県内外から約460人の教育関係者が参加し、嘉手納中学校の教育DXへの取り組みが全国的に高い注目を集めました。

●生成AIパイロット校としての取組

- ①教育の質の向上・・・生徒の学習ペースや理解度に応じたサポートの提供（個別最適な学び）
- ②教師の業務効率化・・・教師の業務負担軽減（生成AIを用いた授業準備や評価作業）
- ③生徒の創造力育成・・・生徒による生成AI活用（創造的なプロジェクトに取り組む）
- ④校務のデジタル化・・・学校の事務作業や管理業務に生成AIの導入（効率的な校務運営）



秋田県大館市学習体験交流事業 報告会を開催

11月27日、中央公民館において、秋田県大館市学習体験交流事業報告会を開催しました。本報告会では、本町から大館市へ派遣された児童生徒および引率教諭が、現地での貴重な体験や学びについて発表しました。参加した児童生徒からは、体験を通じて得られた新たな気づきや成長について報告があったほか、今後、学校生活の中でどのように学んだことを活かしていくかについて、力強い決意表明がありました。



プログラミング講座 成果発表会！未来を拓く力を育成

11月28日、かでな未来館において、プログラミング講座の成果発表会が開催されました。本講座は、地域や企業と連携し、子どもたちの論理的思考力や情報活用能力を育むことを目的としています。受講生は、実践的な学習を通し、特に重要な「考える力」「つくる力」「伝える力」という3つの力を大きく伸ばしました。成果発表会では、受講生一人ひとりが自作のプログラムや作品を自信を持って発表し、会場は大きな拍手に包まれました。



- Scratch：論理的思考と楽しさ（命令を順番に並べる、条件で動きを変える、論理的思考など）
- Vtube：創造・表現と情報モラル（アバター製作や表情連動、画面構成、デザイン力など）
- Unity：本格ゲーム製作と問題解決（全工程を自分で考え、試し、作り上げる。課題解決力など）

作文コンクール入賞！「おばあの口ぐせ」で町長を表敬訪問

第23回中学生作文コンクール（主催：公益財団法人イオンワンパーセントクラブ）で入賞した、昭和薬科大学附属中学校2年仲村渠愛結さんが、このたび町長を表敬訪問し、受賞を報告しました。入賞作品「おばあの口ぐせ」は、祖母の口癖である「カメーカメー（食べなさい）」と「もったいない」をテーマに、沖縄の文化とおもてなしの心を表現しています。仲村渠さんは、食べきれないほどの料理を振る舞う「カメーカメー攻撃」を歓迎の心の象徴として捉え、残った料理を持ち帰ってくれる祖母の行動から、食べ物への感謝と大切にする心を教わったと綴っています。



町長は、沖縄の文化を見つめる仲村渠さんの豊かな感性を称賛しました。この素晴らしい作品は、私たちが大切にするべき心を改めて教えてくれます。仲村渠さんの今後の活躍に期待しましょう。

保護者・地域の皆様へ！薬物乱用防止講演会のご案内

近年、薬物の魔の手が若者、そして中・高校生にも忍び寄るなど、深刻な事態が県内で発生しています。薬物乱用は、「対岸の火事」ではなく、いつ、どこで、誰の周りでも起こり得る身近な脅威です。子どもたちの健やかな成長を守るため、保護者、学校、地域全体が現状を正しく理解し、連携して取り組むことが不可欠です。教育委員会では、この喫緊の課題に対応するため、子どもたちを取り巻く薬物の「今」を学び、具体的な対策を考えるための講演会を下記のとおり開催いたします。多くの町民の皆様のご参加をお待ちしております。



日時：令和7年12月4日（木）午後7時開始 場所：嘉手納中央公民館2階大ホール